

労働市場の概要（平成23年8月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成23年8月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.91倍となり、前月より0.02ポイント上昇。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が2.0%増加し、有効求職者数(季節調整値)は0.9%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(40.0%増)、製造業(27.6%増)、運輸業・郵便業(37.7%増)、卸売・小売業(40.6%増)、医療・福祉(21.3%増)、サービス業(他に分類されないもの)(86.8%増)で増加し、宿泊業・飲食サービス業(13.3%減)で減少したものの、全体では対前年同月比27.1%増と14ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で2.9%減と6ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント上昇し、前年比較でも改善が続いており、県内の雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

1 有効求人倍率(季節調整値)

8月の有効求人倍率は0.91倍となり、前月より0.02ポイント上昇。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1) 有効求人(パートを含む)

○ 8月の有効求人は33,917人で、対前年同月比(原数値比較)で21.3%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも2.0%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で16ヶ月連続での増加となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

○ 8月の有効求職は38,155人で、対前年同月比(原数値比較)で7.4%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも0.9%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で19ヶ月連続での減少となった。

(3) 8月の正社員の有効求人倍率は0.56倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

8月の新規求人倍率は1.46倍となり、前月より0.23ポイント上昇した。

(1) 新規求人(パートを含む)

○ 8月の新規求人は13,621人で、対前年同月比(原数値比較)で27.1%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも18.0%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では14ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業 40.0%の増加(11ヶ月連続で増加)

製造業 27.6%の増加(3ヶ月連続で増加)

運輸業・郵便業 37.7%の増加(12ヶ月連続で増加)

卸売・小売業 40.6%の増加(13ヶ月連続で増加)

宿泊・飲食サービス業 13.3%の減少(2ヶ月連続で減少)

医療・福祉 21.3%の増加(14ヶ月連続で増加)

サービス業 86.8%の増加(17ヶ月連続で増加)

(2) 新規求職(パートを含む)

○ 8月の新規求職は9,327人で、対前年同月比(原数値比較)で2.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.1%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は6ヶ月連続での減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は539,759人で、対前年同月比2.0%の増加となり、20ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,447人で対前年同月比は8.7%減少し、受給率は1.9%であった。